

【4月・0歳児・高月齢】

ほいくのおまもりプラス

	Aさん(高月齢/男児/活発) (1歳0カ月/4月生まれ)	Bさん(高月齢/女児/活発) (0歳11カ月/5月生まれ)	Cさん(高月齢/男児/静か) (0歳10カ月/6月生まれ)	Dさん(高月齢/女児/静か) (0歳9カ月/7月生まれ)
子どもの姿	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保護者と離れる際に泣くが、音の鳴る玩具を渡されると興味を示して泣き止み、保育者のひざに座って鳴らし、笑顔を見せていた。 2. 泣き止んで落ち着くと、ハイハイや伝い歩きなど様々な姿勢で室内を探索し、玩具や絵本を取り出して楽しんでた。 3. 睡眠の際に布団に横になることを嫌がって泣き、保育者に抱っこやおんぶをしてもらいながら入眠した。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 睡眠の際には保育者に促されて布団に横になり、トントンしてもらうことですぐに入眠できた。 2. 絵本を読んでもらう中で、興味のあるページを指差したり、自分なりに声を発し、保育者とのやり取りを楽しむ姿が見られた。 3. 保護者と離れる際に泣くが、保育者に抱っこしてもらいと安心して泣き止み、落ち着くと抱っこやひざから降りて遊び始めることができた。 		
ねらい	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新しい環境や保育者に慣れ、親しみを持つ 2. 身近な玩具に興味を示し、関わろうとする 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育者に見守られながら、安心して眠ろうとする 2. 指差しや自分なりの言葉で思いを表現しようとする 		
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育者の抱っこや優しい言葉がけにより不安を受け止めてもらい、落ち着いた環境でスキンシップを取りながら遊ぶことで、安心感を得る。 2. 室内でハイハイや伝い歩きによる探索を楽しむ、発見した素材や玩具に触れて感触を味わったり、保育者と一緒に遊ぶことを喜ぶ。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 特定の保育者に見守られながら横になり、優しくトントンしてもらったり、子守唄を歌ってもらい、心地よさを感じる。 2. 保育者のひざに座り、気に入った絵本を読んでもらう中で、自分なりの言葉や指差しを丁寧に受け止めてもらい、思いが伝わる喜びを感じる。 		
環境構成 配慮 援助	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本児が登園時から安心感を持てるよう、できるだけ決まった保育者が受け入れ、Aさん、おはよう」「待ってたよ」と優しく声をかける。泣いて不安を表現する本児に寄り添いながら、気分を切り替えやすいよう、気に入っている玩具を見せて遊びに誘ったり、抱っこをしながらわらべうたあそびを楽しみ、徐々にリラックスできるよう関わる。 2. 安全に探索できるよう、床や柵、棚などの安全点検をこまめに行い、破損や危険な部分がないか確認する。本児の視線に合わせて様々な素材や音の鳴る玩具、色豊かな絵本を配置し、本児自ら見つけた手を取った際は、「良いものがあったね」「見つけたね」と喜びに共感し、一緒に触れて楽しむ。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新しい環境になり、まだ生活リズムが安定しないため、眠気が見られるときは「眠くなったね」「ねんねしようか」と優しく声をかけ、安心して入眠できるようそばについて見守る。室温や湿度、採光、他児の泣き声などの周囲の音に配慮し、落ち着いて眠れる環境を整える。 2. 絵本の表紙が見えるように配置し、本児が自ら選び取れるよう配慮する。ゆっくりと丁寧に発音しながら絵本を読み、本児の言葉や指差しを受け止め、「○○だね」と優しく言葉にして返し、やり取りを楽しめるようにする。 		
食事	<p>(完了食)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に手づかみ食べをする姿を大切にし、口に詰め込みすぎないように見守りながら、「おいしいね」と声をかけて食べる喜びに寄り添う。 ・苦手な野菜を口から出す姿が見られるため、好きなおかずと一緒にスプーンに乗せて無理なく食べられるよう配慮し、食べられたときはその姿を認め、様々な食材への興味を引き出す。 	<p>(後期食)食後ミルク80cc</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食べたいものを手づかみしたり、指差して要求するので、「これが食べたいんだね」「おいしいね」と応答的に関わり、意欲を育む。 ・やわらかく煮た野菜や魚をよく噛まずに飲み込むため、完了食への移行に向けて、本児の様子を調理員と共有し、咀嚼を促す固さや大きさに調整しながら提供する。 		
家庭との連携	<ol style="list-style-type: none"> 3. 家庭での睡眠時の様子を聞き取り、本児が入眠しやすい関わり方を模索していく。 ・食事で好き嫌いが激しいという家庭での悩みに寄り添い、本児が食べられた給食の献立や味付けの工夫を共有しながら、焦らず見守る。 	<ol style="list-style-type: none"> 3. 日中は保育者から離れて笑顔で過ごせた様子を伝え、保護者が安心できるようにする。 ・兄の服や貰い物の服を着ていることがあるため、必ず本児の名前に書き替えてもらうよう依頼し、返し間違いを防ぐ。 		
評価・反省	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新しい環境や保育者に慣れ、泣かずに保護者と離れたり、自ら保育室に向かう姿が見られるようになった。引き続き、応答的に関わりながら信頼関係を深めていく。 2. 棚や箱から玩具を取り出し、そばにいる保育者に見せたり、壁面の吊るし玩具に興味を示して伝い歩きで近づき、手を伸ばしていた。本児の探索活動を見守りながら、喜びや楽しさを共有し、好奇心を満たしていく。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 午前睡の時間帯は他児の登園と重なり、入眠しづらい様子が見られたが、午睡は落ち着いて入眠できた。周囲の音に反応して目を覚ますことがあるため、「びっくりしたね」と優しく声をかけながら再入眠を促し、一定時間眠れるよう配慮する 2. 絵本を読んでもらう中で、盛んに指差しをする姿が見られ、保育者に一つずつ受け止められることで満足していた。動物や食べ物など、様々なテーマの絵本を用意し、興味を広げられるようにする。 		

無料版:2名分
↓
有料版の
"おまもりプラス"
は12名分が
閲覧&DL可能!

子どもの姿の1, 2は『ねらい/内容/環境構成・配慮・援助/評価・反省』、3は『家庭との連携』と連動しています。

敬称と性別表記:ウェブサイトにも当社方針を記載しております。

ほいくのおまもり **Plus!**

ダウンロードのお礼とおまもりプラスについて

この度は個人案をダウンロードいただき、ありがとうございます！

ほいくのおまもりプラスでは、**性別／タイプ別／月齢別の12名分の個人案（0,1,2歳児）**をご用意しています。更に・・・

- **無料版の2倍の月案文例**
- 丸1ヶ月分の月～金の全ての週案
- 毎月45個の製作型紙
- 毎月2つのスケッチブックシアター
- その他、会員だけのコンテンツ

これだけ揃って、**月額980円+税**の大特価！気になる人は、以下からおまもりプラスのサービスを確かめてみてくださいね。



文例ご利用時の注意事項

- 提供される文例は、一般的なケースを想定して作成されています。ご自身の具体的な状況やニーズに合わせて適宜修正を加えてご利用ください。
- 文例の利用によって生じたいかなる結果についても、当サービスは責任を負いかねます。自己責任においてご使用ください。
- 文例は参考としてのみご利用いただき、直接のコピー＆ペーストではなく、ご自身の言葉で表現を加えることをお勧めします。
- 法的な文書や重要な契約に関する文面は、専門家のアドバイスを受けて作成することをお勧めします。
- 文例の著作権は当サービスに帰属しています。無断での再配布や商用利用はご遠慮ください。